

15～16年版 電気通信主任技術者試験全問題解答集 1 共通編 正誤表

II-79 (3)(ii) ③

正しくは、「・・・実開口面積と開口効率に比例する．．．」

アンテナ利得 $G=4\pi A\eta/\lambda^2$ A : 実開口面積

II-126 (3)(ii)

②正しくは、「欠相の原因としては・・・欠相検出装置で検出している」。

③正しくは、「短絡の原因としては、配線の絶縁劣化や接続部の接触不良があり、過電流継電器などで検出している」。

II-193 (3)(i)

③正しくは、「ディスタンスベクタ方式では、隣接するルータの経路情報とルータ自身が保有する経路情報をもとにして、最短のホップ数(通過するルータの数)を考慮して目的地までの経路を計算し、ルーティングケーブルを生成する」。

④正しくは、「リンクステート方式では、一般に、すべてのルータが常に同一のデータベースを保持しており、各ルータが個々に最短パスツリーを作りルーティングケーブルを生成する。リンクステート方式は、経路情報に変更があってもディスタンスベクタ方式と比較して、経路が収束するまでの時間が短く、経路がループになってしまうことはない」。

II-219 (2)(ii) ②

正しくは、「メタリック平衡ケーブルでは、一般に、高周波成分ほどケーブルでの減衰量が大いことと、さらに中継器の電子回路には直流成分を通さないものもあることから、符号列の電力スペクトルは、なるべく高周波成分が少なく、かつ直流を含まない符号化方式が用いられる」。

III-109 (1)

③: 誤り (第43条の2 添付書類の省略)

正しくは、「資格者証の交付を受けようとする者は、総務大臣が住民基本台帳法の規定により地方公共団体情報システム機構から資格者証の交付を受けようとする者に係る本人確認情報の提供を受けるときは、氏名及び生年月日を証明する書類の添付を要しない」。

以上、訂正してお詫び申し上げます。

平成28年6月1日現在